

我が社の  
障害者雇用

## 株式会社 メイワパックス 兵庫工場

### Package your vision

軟包装のプロフェッショナルとしてお客様の課題に新しい答えを。



#### 会社概要

- 代表者 ● 代表取締役社長 増田 淳
- 所在地 ● 豊岡市
- 事業内容 ● プラスチックフィルム印刷、フレキシブルパッケージング及び金属蒸着製品の製造
- 従業員数 ● 261名 うち障害者数11名  
(身体障害者4名、知的障害者6名、精神障害者1名)
- ホームページ ● <http://meiwa.mpx-group.jp/>



### 障害者雇用について人事担当者にインタビュー

#### 障害者雇用推進のきっかけ・経緯は？

最初のきっかけは、障害者法定雇用率を遵守するためでした。企業としての責任を果たせていないという思いから、障害のある人をしっかり雇用していこうという方針を固めました。メイワパックスグループの中でも、この兵庫工場をモデルケースにしておくことになり、障害者雇用について何も知識のない状態から、まずはハローワークへ相談に行く形で、スタートを切りました。

#### 採用はどのように？

短期職場適応訓練を積極的に活用しています。また、近隣にある障害者就業生活支援センター「NPO法人ぷろじえくとPlus」様にもご協力いただいています。障害のある人はもちろん、私たち企業側も、実際に雇用を決定するまでには、さまざまな不安があります。仕事内容や社風などがマッチしない状態で雇用を決定すると、両者にとって厳しい状況を作りだしてしまいますので、1～2週間という短期間、実際の現場で仕事を行った上で、自分に合う仕事かどうかを見極められるため、ぜひ活用すべきだと思います。

現在は、短期職場適応訓練から3ヶ月間のトライアル雇用に移行し、両者とも問題がなければ

正式雇用と、受け入れから雇用までの流れが出来上がっています。雇用のスタート時から現在まで、サポート制度や人材紹介の面で、ハローワークの方にいろいろと相談に乗っていただいています。障害者雇用に関しては、さまざまなサポート制度が充実していますので、企業としては積極的に利用して雇用に結びつけていくといいのではないのでしょうか。

### 採用された方はどのような職種に就かれていますか？

不良品の回収と圧縮・プレス作業は、障害のある人とシルバー人材センター様より派遣していただいている方とのチームで行っています。シルバーの方には豊かな経験と知恵を十分に活用していただき、一般の従業員と障害のある従業員との橋渡し役をお願いしています。

当社の場合は、精神だけでなく、身体・知的とさまざまな障害のある従業員が働いています。例えば、身体に障害のある人は重い物を持ってない場合が多いため、精神・知的障害のある方がカバーするという形で、それぞれの特徴を活かして役割分担しています。最近はシルバーの方の割合が減ってきていますが、長く働いている障害のある従業員が新しく入った従業員に仕事を教えられるようになっているので、現場が上手く回っていると思います。

### 障害者雇用で感じたこと、今後の課題は？

私は、数年前から障害者雇用に関わっています。それまでの生産部門から未知の分野を担当することになりましたが、特に苦勞を感じたことはありません。強いていうなら、健常者に比べ募集が集まりにくかったことぐらいでしょうか。結局、その点に関してもハローワークの方に力になっていただき、雇用できる人数を増やしていきました。

障害のある人となない人、仕事の上で大きな違いはないと思っていますが、すべてを一人でできるか、できないかという違いは確かにあるかもしれません。ただ、会社をひとつのジグソーパズルに例えるなら、ひとつずつのピースは色も形も違っていても当たり前で、従業員という全ピースが集まった時に、会社というひとつの絵になればいいと思います。

健常者が行うと飽きがきて長続きしない作業も、障害のある方が根気強くやり続けられることもたくさんあります。会社の仕事に不要なものはひとつもなく、誰かがやらなければならないことです。その人の能力がうまくマッチすれば、企業にとっても、障害のある人にとっても、価値のある働き方ができると思います。

### 雇用管理・サポート体制などで工夫されている事は？

精神障害や発達障害のある人を初めて雇用してから丸7年を迎えます。1日3時間からスタートし、トライアル雇用助成金を活用させていただきながら徐々に仕事を増やし、現在は週4日、1日8時間のフルタイムで仕事をしてもらっています。



インタビューに答える生産本部兵庫生産査業部  
総務課長代理の陰山 正樹さん

「NPO法人プロジェクトPlus」様の方には、長期にわたってご指導いただいています。うまく雇用が定着してきましたが、現在も1か月に1回は担当者の方を交えて振り返りの時間をつくり、ケアを続けています。

同じ精神障害や発達障害を持っている人でも、個人によって性格も能力も違いますし、当然接し方も違います。同じミスがあったとしても、しっかり注意する人と、もっと自信を持つようにアドバイスすべき人、その見極めを支援者の方を交えて上手くやっていけば、障害があっても会社の戦力として、十分に活躍することができます。実際当社の従業員も、今まで自分たちがしなければならなかった産業廃棄物の管理作業を任せることができて、大変助かっているようです。

### 最後に、これから障害者雇用に取り組もうとしている企業へのメッセージをお願いします。

当社は、雇用という面だけでなく、地元の障害者支援施設「出石精和園」が運営するうどん屋「楽々庵」およびパン工房「らくらくベーカリー」に、使用していない社屋を無償で提供しており、この面でも障害者支援に取り組んでいます。

また、らくらくベーカリーからは当社の従業員の残業食としてパンを購入していますが、立ち上げ時に比べると製造技術もぐんぐん上がっていて、当社の従業員にも非常に評判がいいようです。

このような取り組みが認められ、兵庫県知事から感謝状をいただいたり、この度の兵庫県雇用開発協会理事長表彰をいただくことができました。地域への還元は、やがて自分たちの会社に戻ってくるものだと思います。障害者雇用に踏み出すには、きっかけが必要かもしれませんが、私たちの事例を目にいただいたことがきっかけになれば、こんなにうれしいことはありません。

## 勤務されている方へのインタビュー



インタビューを受けるAさん

### いつからこの会社に勤めていますか？

「ぷろじえくとPlus」からこちらを紹介してもらいました。働き始めて今年の7月で4年目になります。今は8時～17時までの勤務で週4日働いています。

### どのような仕事に従事されていますか？

工場では袋になる軟包材を生産しています。私は印刷や加工中に出る不良品を回収し、圧縮機でプレスする作業をしています。

### この会社に勤めて良かったと思う事は？

大きな会社の工場なので、いろいろな人に接する機会を持てることです。仕事でわからないことは先輩に教えてもらい、逆に後輩には私が教えることもあります。

### 今後の自分への課題・目標などあれば教えてください。

毎日こなしている作業をより効率的にできるようにしていきたいと思っています。